

インパクト投資に関する勉強会 趣旨

2020 年 6 月

「インパクト投資に関する勉強会」事務局

1. 課題意識:①G20 大阪会合を契機に、SDGs 達成に向けた取り組みの推進にあたり民間資金の動員は不可欠とされ、特にインパクト投資の活用に内外の期待が高まり、ESG 投資の次の段階としてインパクト投資に強い関心が寄せられている。②特に、我が国においてインパクト投資を考えることは、地方創生という社会課題解決に関する地域金融機関の取り組みを考えるうえでも不可欠であるほか、メガバンク・証券会社等大手金融機関が、投資家(機関・個人)の期待に応えた金融商品を開発するという金融の国際競争力という観点からも重要である。③一方で、インパクト投資については、その定義、インパクトの評価、インパクトとリターンの相関関係、適切な退出手段の確保、アセットクラスとしての位置づけなどの観点から課題も多い。④その健全な発展を推進するにあたっては、市場関係者および官民の関係機関の理解を深め、必要があれば適切な市場整備を含めた官民の取り組みが不可欠である。以上を踏まえて、本勉強会では、主として投資家としての金融機関にとってのインパクト投資およびそれを取り巻くエコシステム構築の在り方について焦点をあてて議論を行う。
2. 目的:インパクト投資についての金融市場関係者と行政・規制当局の理解を深め、国内外の社会課題解決に向けたインパクト投資への取り組みの意義と課題を明らかにし、我が国金融業界の持続的な発展に資する推進の在り方について議論する。インパクト投資に係る国内エコシステムの構築を一次的な目的とするため、初めから提言ありきではないが、議論の状況に応じ、何らかのとりまとめを行うことも考えられる。
3. 主催:金融庁と GSG 国内諮問委員会の共催

以上